

信濃の國に
春を告げる時又初午
はつうま

募捐集金 はだか祭り

令和6年
3月10日(日)

◎18~41才までの健康な方
◎専用の衣装をご用意いたします

2月末までにお申し込みください

当日参加可

※準備からの参加も可

参加費:500円

※御守り代として



お問い合わせは
竜丘自治振興センター
〒399-2565 飯田市桐林 505
TEL.0265-26-9303
時又初午はだか祭り保存会

※感染症予防対策の上、実施いたします。

時又初午 はだか祭り

毎年旧暦二月の初午の日に近い日曜日（現在は三月の第二日曜日）に長石寺で行われ、一般には「時又のはだか祭り」として知られ、令和六年には六十六年目を迎えます。

祭りの起こりは古く約七五〇年前、当時の領主小笠原一郎長清が戦勝を感謝し、死んだ兵士の御靈を慰めるため、長石寺に木馬を奉納したことが始まりとされています。

「はだか祭り」が始まります。
地元保存会・地域の若者たちが半裸でご神馬・御水・俵などのみこしを担いで町内をおんすい・おんすいの掛け声できおい練り歩き、最後は天竜川に威勢よく飛び込み清冽な水を掛け合うと、まだ春浅い天竜の水は勢いよく飛び散り祭りは最高潮に達します。

御水みこしに汲み上げられた御神水はお馬堂に運ばれ、洗馬の儀が執り行われ、はだか祭りは締めくくられます。

祭り当日は、昼過ぎから境内で豊作・厄除け・交通安全の祈願を行い、神馬に捧げる水を天竜川から汲み上げる祭事